eco プロジェクト 通信

使い捨てコンタクトレンズの空ケースをリサイクル！
アイシティ店頭の回収ボックスに是非お持ちください。
皆様のご協力、よろしくお願いいたします。

コンタクトのアイシティでは、使い捨てコンタクトレンズの空ケースリサイクル運動「アイシティ ecoプロジェクト」をおこなっております。

現在の参加数(2019年12月時点)　高校 … **769**校　中学校 … **342**校　企業 … **564**社 1,585拠点(事業所・支店含む)

2017年4月から全国に活動をひろげはじめ、1,675団体様にご協力いただいております。
ご協力いただいた学校様・企業様をアイシティ公式HPで一部ご紹介させていただいております。

使い捨てコンタクトレンズの空ケースの回収量とCO_2削減量

2010年4月～2019年12月の累計実績

使い捨てコンタクトレンズの空ケース回収量▶ **340.34t**

アイシティ ecoプロジェクトでのCO_2削減量▶ **942.75t-CO_2**

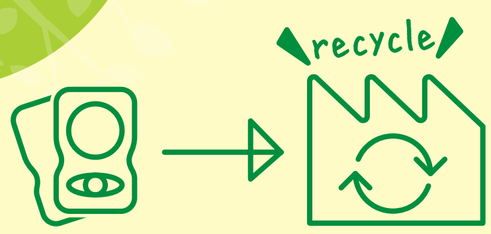
※東京ドーム56.5個分の森林が1年で吸収するCO_2と同量　※最新の情報はホームページに記載しています。

(公財)日本アイバンク協会への寄付

空ケースをリサイクル業者に買い取っていただき得た収益を、全額(公財)日本アイバンク協会に寄付しています。

2010年4月～2019年12月の寄付金額▶ **8,349,357円**

生まれ変わった空ケース 再生品紹介



皆さんに回収していただいた使い捨てコンタクトレンズの空ケースはリサイクル工場で様々な製品に生まれ変わっています。

回収ボットル(小)

回収時に学校で使っていただける貸出用ツールの回収ボトル(小)。皆様のおかげでecoプロジェクトの回収量が増えたため空ケースをリサイクルしてできた再生ポリプロピレン100%の蓋にリニューアルされました。

カラーペン

店舗へご来店してecoプロジェクトにご協力いただいた個人のお客様にお礼としてお渡ししているノベルティグッズです。白いペン軸部分は再生ポリプロピレン100%でできています。

エッグマラカス

ecoプロジェクトを広めるため、全国の環境イベントに出展し、お子様向けのワークショップを開催しています。空ケースをリサイクルしてできたカラフルなビーズで手のひらサイズの小さなエッグマラカスを作っています。たくさんの子どもたちが楽しみながらリサイクルについて考えるきっかけとなるグッズです。

コンタクトレンズNavi
コンタクトデビュー後の気になること

Q メガネとコンタクトレンズの違いを教えて！

A デビューしてみないとわからない、メガネとコンタクトレンズの違いをご説明します！

メガネ	コンタクトレンズ
● つけはずしが簡単。	● フレームがなく、素顔で過ごせる。
● コンタクトに比べると視界が狭い。	● ソフトタイプはスポーツ向き。
● 気分によって変えたり、オシャレとして利用できる。	● 強度近視でも、見えるモノの大きさはそのまま。
● 視界は約120度。	● 不同視でも疲れにくい。
	● 視界は約180度。

Q コンタクトレンズに慣れるまで、どのくらいかかるの？

A 個人差もありますが一般的には、ハードレンズで2～3週間、通常タイプや使い捨てのソフトレンズで1週間ほど。最初は1日の装用時間を短めにしましょう。その後、少しずつ長くしながら慣らしていきましょう。

Q コンタクトレンズは、目に入れても怖くない？

A はじめはみんな「目に入れたら痛そう」「一人でつけはずしができる？」「コンタクトが目の奥に入って取れなくなっちゃう？」と不安に思っていたようです。ちなみに、目の構造から、コンタクトが目の奥に入って取れなくなることはありません。

初めてコンタクトレンズをした時は、怖くてはずすのに手間取った。でも今は、鏡が無くてもはずせるまでに成長☆ (30代女性)

使いはじめの頃は、コンタクトレンズをつけるのに30分かかった！今では片目3秒！(20代男性)

出典元：アイシティネット会員アンケート(2013年11月実施)

Q コンタクトレンズをしたままお風呂やプールに入っても大丈夫なの？

A 目に水が入ってレンズが張りついてしまったり、目を痛めてしまう可能性がありますので、お風呂やプールでは、コンタクトレンズははずしてください。

企業紹介 ～eco活動なにしてるの？～

カルビー株式会社

掘りだそう、自然の力。 Calbee

「ポテトチップス」や「じゃがりこ」でおなじみの「カルビー」は今年、創立70年を迎えました。全国に13の工場がありますが、それぞれの地域で必要とされる社会貢献活動を行っています。栃木県にはカルビーの２つの工場と研究開発本部があります。従業員と家族が足尾銅山植樹デーに参加しました。江戸幕府直轄の銅山として発展しましたが、鉱害と伐採によりはげ山になってしまいました。この山の緑を再生させる活動が長年ボランティアにより行われています。毎年4月の植樹デーには全体で2000人近くの人が集まり、山に植樹を行います。カルビーも毎年参加しています。急峻な階段を登り、苗木を植えました。お天気に恵まれ山頂近くからの眺めは絶景でした。植樹活動は栃木県のほか、北海道や愛知県でも行っています。

株式会社桃屋

おかげさまで100周年！「ごはんですよ！」・「辛そうで辛くない少し辛いラー油」でおなじみの株式会社桃屋です。

当社は「中身が見える」・「作り立てのおいしさを保つことが出来る」等の点から、使用の容器を“びん”にこだわっておりますが、びんは、地球環境にもやさしい事をご存知ですか？

びんは元来天然素材で作られており、資源として再利用できます。なんと<再生利用率(リユース)は80%以上！>リサイクリングの優等生なんですよ！

これは、限りある資源を無駄なく有効に活用する「アイシティecoプロジェクト」と相通じており、当社ではこれからもこの活動を推進してまいります。

詳しくは「アイシティ エコ」で検索してください。

皆様のご協力、よろしくお願いいたします。

eyecity コンタクトのアイシティ